

松中だより 家庭教育支援資料6

「自転車による交通事故防止の徹底」

生徒の交通事故防止については、日頃より、各ご家庭においても御指導いただいているところですが、本校では、学区内の通学路に坂道が多いことや、数年前より中学生の地域における自転車の乗り方が危険であるとのこと指摘を受け、自転車の利用について、昨年度より本校独自のルールを設けて事故防止に努めてまいりました。しかしながら、過日、県内において、中学生が自転車走行中に、歩行者と衝突し、その歩行者がなくなるという痛ましい事故が発生しており、こうした事故は、私たちの身の回りでも起こりうることであり、万が一、加害者となった場合は、相手を負傷させるだけでなく、本人も精神的な負担を被ることになります。また、ときに賠償責任を負うことにもなりかねません。ついては、下記の資料等を活用し、ご家庭内においても折に触れ、自転車の乗り方について御指導いただければ幸いです。

自転車は車両です！事故を起こせば、運転者が責任を問われます！

自転車は車両です。歩行者に追突すれば相手を死亡させてしまうこともあり、自動車と同様、刑事的に重過失致死罪などに問われ、民事的にも損害賠償請求をさせる可能性があります。

○自転車による加害事例

自転車通学中の高校生が誤って歩行者に衝突し、重傷を負わせた。【賠償金 6,008万円】

○高校生が夜間、携帯電話を操作しながら無灯火で走行中、女性と衝突し相手には重大な障害が残った。【賠償金 5,000万円】

運転者の遵守事項に関する主なルール(千葉県道路交通法施行細則9条)

- 傘差し運転禁止：傘差し運転など、視野を妨げたり不安定になるような危険な運転を禁止します。
罰則：5万円以下の罰金
- 携帯電話等使用禁止：自転車運転中に携帯電話等(携帯音楽機器を含む)を手で保持して通話や操作、表示された画像を注視することを禁止します。
罰則：5万円以下の罰金
- ヘッドホン等使用禁止：周囲の音が聞こえないような音量で音楽等を聞きながら運転することを禁止します。
罰則：5万円以下の罰金

自転車安全利用五則を守ろう！

1 自転車は車道が原則、歩道は例外

道路交通法上、自転車は軽車両と位置づけられています。したがって歩道と車道の区別のあるところは車道通行が原則です。
罰則：3ヶ月以下の懲役又は5万円以下の罰則

2 車道は左側を通行

自転車は道路の左側に寄って通行しなければなりません。

罰則：3ヶ月以下の懲役又は5万円以下の罰金

3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

歩道を走行する場合は、すぐに停止できる速度で、歩行者の通行を妨げるときは一時停止しなければなりません。
罰則：2万円以下の罰金又は科料

4 安全ルールを守る

二人乗り禁止(2万円以下の罰金又は科料)・並進禁止(2万円以下の罰金又は科料)・

夜間はライトを点灯(5万円以下の罰金)・信号を守る(3ヶ月以下の懲役又は5万円以下の罰金)

交差点での一時停止と安全確認(3ヶ月以下の懲役又は5万円以下の罰金)